

令和 5 年2月定例記者会見(令和 5 年2月8日)
市長原稿(議案以外)

【市長】

それでは、議案以外についてご説明申し上げます。

資料No.11 「出産・子育て応援事業の開始について」です。

現在、核家族化が進み、地域のつながりが希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭も少なくありません。全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境の整備につきましては、国はもとより本市においても喫緊の課題となっています。

国では今年度より「出産・子育て応援交付金」を創設し、本市ではその交付金を活用した「出産・子育て応援事業」を開始します。

事業の概要としましては、妊娠期から出産・子育てまでの一貫した相談及び必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と、経済的支援となる「出産・子育て応援ギフト」を組み合わせた形で、全ての妊婦・子育て家庭のニーズに即した効果的な支援を実施します。

具体的な事業の内容は、伴走型相談支援では妊娠届出時や赤ちゃん訪問時での面談と、妊娠 8 か月前後でのアンケート及び希望者への面談を行います。対象者は主に妊婦・産婦となります。

出産・子育て応援ギフトでは、妊娠届出時の面談実施後、赤ちゃん訪問時の面談実施後にそれぞれ 5 万円ずつ現金で支給します。令和4年4月1日以降に出産された方、妊娠の届出をされた方が対象です。すでに出産、妊娠の届出をされた方へはこれから個別通知を行いますので、案内に沿って手続きをお願いします。

本事業を通じてこれからも市民の皆様に寄り添った支援ができるよう努めて参ります。

【市長】

続いて、資料No.12 「子ども家庭総合支援拠点について」です。

令和 5 年 3 月 1 日より福祉保健会館内の「旧いきいきホーム」跡のスペースを利用して「子ども家庭総合支援拠点」を開設します。

詳細につきましては、健康福祉部子育て支援課長より説明いたします。

【子育て支援課長】

「子ども家庭総合支援拠点」では、子どもと家庭の支援を行うための相談全般や、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務を行う機能を持ちます。この他、親子が交流できる「親子交流スペース」を設置します。

同様の組織として、今までは「家庭児童相談室」がりましたが、「子ども家庭総合支援拠点」は「家庭児童相談室」を包含し、現在の「家庭児童相談員」が継続して相談業務を進めます。

支援対象は、市内に所在するすべての子どもとその家庭及び妊産婦等です。相談機能と交流の場を合わせた充実した施設となるよう努めてまいります。

【市長】

続いて、資料No.13「バス旅マップの制作について」です。

このほど県立裾野高校の生徒が「BUS trip in SUSONO」と題したポケットサイズの観光パンフレットを作成しました。この取り組みは同校ビジネス系列観光ビジネスグループの生徒 27

名が授業の一環として、約半年かけて作成したもので、作成には、当市も協力しています。
詳細につきましては、産業観光課 田村主事より説明いたします。

【産業観光課 田村主事】

このほど県立裾野高校の生徒が「BUS trip in SUSONO」と題したポケットサイズの観光パンフレットについて説明いたします。

パンフレットのコンセプトは「Come back to 裾野～ふとした時間に帰りたくなる裾野～」です。パンフレットの効果を高めるために QR コードを掲載し、ウェブ上のユーチューブ動画と連動させています。

作成に当たった高校生たちは 8 月 2 日に市内の観光スポットを観光バスで周遊し、実際に観光スポットを訪問することで、裾野の魅力を体験しました。十里木高原展望台や頼朝井戸の森、忠ちゃん牧場、運動公園、葛山城址、屏風岩などの訪問先では、5 つの班に分かれて、景勝地の風景はもちろんのこと、自分たちが楽しんだり、お弁当を広げたりしている姿を写真や動画で撮影しました。

その後、班ごとに作成したパンフレットを一つに編集する作業と、班ごとに動画を作成する作業に取り組みました。動画の中では進学や就職で裾野を離れて暮らす裾野市出身者に郷土愛や懐かしさが伝わるように班ごとに見せ方に工夫した 5 本の動画で紹介しています。

1 班は女性、2 班は若者、3 班は 20～30 代の夫婦、4 班は大学生・専門学校生、5 班は家族となっており、班ごとにターゲットの設定を変え、様々な人たちに共感してもらえるように、工夫しています。

ここで、1 本の動画をご覧ください。3 班の動画で時間は 3 分間です。20～30 代の夫婦に向けた設定で、中国語の字幕も入れています。

《動画放映 3 分》

いかがでしたか？お時間の都合で 1 本だけといたしますが、紹介できなかった 4 本の動画は後ほどご覧ください。5 つの動画を見比べながら、視点の違いや高校生ならではの弾けるような若い感性を楽しんでいただければ幸いです。

このパンフレットは A3 サイズカラー刷り両面印刷の用紙を観音折りにしたポケットサイズで、全 2,000 部作成しました。静岡県観光協会事務所やふじの国東京事務所などでも配布しますが、裾野市公式ウェブサイト等にも掲載し、PRすることになっています。

この 3 月に卒業する裾野高生が、裾野市に対する想いを込めて作成した、若さはじけるパンフレットです。

是非とも、取材をしていただけますよう、よろしくお願いいたします。

【市長】

次に、資料No.14「すそのんバースデー・ウィーク2023」についてです。

2月23日富士山の日は市マスコットキャラクター「すそのん」の誕生日です。

誕生日の前後 2 週間の2月13日(月曜日)から3月3日(金曜日)に「すそのんバースデー・ウィーク 2023」を開催します。

詳細につきましては、情報発信課 今野係長より説明いたします。

【情報発信課 今野係長】

私から、「すそのんバースデー・ウィーク 2023」について説明します。

2月23日富士山の日は市マスコットキャラクター「すそのん」の誕生日です。

誕生日の前後 2 週間の2月13日(月曜日)から3月3日(金曜日)に「すそのんバースデー・ウィーク 2023」を開催します。

日ごろから「すそのん」を応援してくれている市民やすそのんファンへ感謝を伝えるとともに、市内外に向けて、市の魅力の発信と地域の活性化を図るために、市内事業者、関係団体と連携、協力をし、「スタンプラリー」「すそのんカフェ」「ファンミーティング」の 3 つのイベントを開催します。

まず、スタンプラリーは35の参加店舗と、5つの公共施設がスタンプポイントとなり、獲得スタンプの数に応じてすそのんオリジナルグッズをお渡しします。ぜひ、参加店舗に足を運んでいただければと思います。

また、15個以上スタンプを獲得した方は、「W チャンス」の応募対象となり、参加店舗からの協賛品を抽選でお渡しします。

次に、すそのんカフェは市役所庁舎に隣接するグリーンカフェ花麒麟において、期間限定の「すそのんパン」の販売や、すそのんグッズを豊富に取り揃えています。

営業時間は、平日の9時30分から15時までになります。

最後に、ファンミーティングは、すそのん誕生日2月23日当日に、生涯学習センター3 階学習ホールにて午前午後各一回ずつクイズ大会や、じゃんけん大会、ゲストライブ、記念撮影などを行います。

事前申込制になっており、定員は各回 50 組または上限 120 人です。応募期限は2月15日になります。

近年コロナ禍で、市内の方に限定するなど制限をしておりましたが、3 年ぶりに全国の皆様にご参加いただける機会です。

沢山の方にご参加いただけたらと思いますので、周知についてよろしくお願い致します。

【市長】

次に、資料No.15「note(ノート)スソノノミライ研究所の設立について」です。

裾野市は広報紙、ウェブサイト、SNS など、市の取り組みなどの「結果」を発信しています。しかし、取り組みが実を結ぶまでの時間は長く、今、市が何に取り組んでいるのかを市民に伝えることが難しい状況にあります。

そこで、市の今の取り組みを伝えたいという思いから、新しく note を使った情報発信を始めます。

詳細につきましては、情報発信課 今野係長より説明いたします。

【情報発信課 今野係長】

note とは、クリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。Note 株式会社の発表によると、令和 4 年 5 月末時点の自治体の note 利用は 88 自治体とのことです。

運用は 2 月から 1 年間、試行運用を行い、本格運用について検討をしていきます。

発信する情報は 裾野市が取り組む施策のうち、市民、企業、大学などと連携して行うもので

す。「裾野市が抱えている様々な課題の原因を追究し、その課題の解決によって市民の生活をより良くしたい」という思いから、サイト名を「スソノノミライ研究所」としました。

まずは note 上のスソノノミライ研究所の中に3つの研究室(カテゴリ)を設定しスタートします。

公共交通の課題解決を目指すモビリティシティ研究室、市内の温室効果ガス排出量の実質0を目指すカーボンニュートラルシティ研究室、災害発生時の的確対応を目指す研究室防災減災シティ研究室です。

思いを込めた親しみやすい情報発信をすることで、広報のミッションである「市民目線で分かりやすい情報を伝え、裾野に愛着と誇りを持つひとを増やす」ことの達成を目指します。